

ニュースから考える



令和初の国賓として来日していたトランプ米大統領が5月28日午後、3泊4日の日程を終え帰路に着きました。

ゴルフ、相撲観戦、炉端焼きでの会食、そして天皇陛下との晩さん会など秒刻みの日本流の「おもてなし」に注目が集まりました。

したが、勿論、観光で来たわけではないので諸問題について話し合ったのは当然です。

一方、形式を重んじる国家ぐるみの行事中に「Twitter」や「Instagram」で「まんべんの笑顔」の自撮りを両首脳が世界中に発信した今風の対応は見事で芸能人同様、人気商売なんだな〜と改めて感じました。わたしたち経営者や管理職も同様に「インスタ映え」するような笑顔でいつも過ごしたいものですね。

昭和のアナログ、平成のデジタルに続き令和はどんな時代になるのでしょうか！

1分でわかる業務カイゼン

アナログがピンチ！

昭和時代の私たちの貴重な情報源として「新聞」があります。しかし、その新聞が危機を迎えているようです。



博報堂が2018年に行った調査によると「平日、新聞を読んでいますか？」という質問に対し、52.5%の人が「読んでいない」と答えたそうです。「読んでいない」と答えた人は若い20代が79.0%、以外なことに40代の働き盛りが52.8%も読んでいないというイメージとは異なる結果となっています。そう考えると「新聞広告」、「折込チラシ」といった従来の広告手段は効果が薄くなっているという事になります。

また、皆さんがお子さんのために必ず購入した「小学〇年生シリーズ」も現在は購読者の減少により「小学一年生」のみとなっています。

学校でも教科書の代わりにタブレット導入も進んでいます。紙から情報を得るという昭和の常識が通用しない時代となりました。

デジタルは？

私たちの生活を大きく変えたのは間違いなく平成になってからのデジタル技術の発展です。そのデジタルを代表するものとして家庭用ゲーム機やスマホがあります。電車やバス、歩きながら、自転車の運転中などにスマホに夢中になっている人の姿を当たり前前の光景として良く見かけます。

困った事に、これは世界共通の悩みのようで5月25日、スマートフォンなどのゲームにのめり込んで日常生活に支障をきたすゲーム依存症が、国際的に「ゲーム障害」という疾患として認められ（世界保健機関 WHO）ギャンブル依存症などと同じく治療が必要な疾患とされました。

弊害の一方、そのデジタル技術の発展のおかげでアマゾン、楽天などを利用し自宅に居ながら簡単にものが購入できるという便利さを私たちは享受しています。当事務所のお客様でも時代の波に乗ってネット販売で売上を伸ばしている企業があります。

従来の仕事をより伸ばす事は大変です。そう考えると新しい分野に挑戦する勇気も必要です。

人がいない・・・

令和になって早々ですが、昭和、平成を経て便利なお店から社会インフラにまで成長したコンビニ業界が危機を迎えています。

その原因は「人」がいないという致命的なものです。少子高齢化が続くと AI 技術がより発達し「事務所」、「工場」、「スーパー」、「コンビニ」等に人がいないのが当たり前という時代が到来しそうです。

コンビニに働くひとには大変失礼ですが・・・それほどの知識も不要で年齢、性別、経験も問われない仕事です。それでも人が集まらずお店の運営に支障が出ています。

私たち中小企業では人を採用するのも大変です。しかも、コンビニのようにマニュアル化、システム化が



困難な仕事がほとんどで、知識や経験を身に着けるまで数年の年月がかかります。さらに、今の若者はブラックではなく、お金が安くてもホワイトな企業を

求めています。

令和の次を見据える

中小企業は大企業と違い、「人」「もの」「金」が無いのが当たり前です。しかし、「知恵」と「希望」と「努力」は誰にも負けていません。なぜなら、この厳しい時代に皆さんは事業を成功させているからです。

会社の寿命は 30 年と一般によく言われます。これは「日経ビジネス」が 1983 年に主張した事が起源のようです。

何も考えていないと、やがて一般的な寿命と言われる 30 年の月日がやってきます。時代の流れを考えると「少ない人数」で「大きな利益」を上げられる・・・「ホワイト」企業でなければ人が集まらないという現象になりそうです。

色々困難がありますが・・・令和の次の元号まで企業を存続させる事が経営者の責任です。知恵を絞りだして頑張りましょう！

事務所からのお知らせ

会社の健康診断として経営分析を行っていますので担当者にお尋ね下さい。また、お知り合いの経営者でお悩みの方がおられましたらお気軽にご相談ください。



今月の経営のヒント : いま・・・設立何年ですか？

今月のことば

最も多くの人間を喜ばせたものが最も大きく栄えるもの。

(徳川 家康)

編集後記:

床屋さんでは・・・何年たっても一人前にはならないそうです。最初はシャンプー、次に髭剃り・・・お客さんの髪を切ってお金を貰えるには何年もかかる。大した修行もしないで独立するから店を失敗させるんだ～～と理容室の経営者が話していました。

これは飲食店でも言える事です。プロと料理上手は見た目とはかく、食べて良かった！ と感じるか・・・お金がもったいない・・・と思うか感想は全然違います。

自分の仕事では勿体なかったとは言わせないように技術や知識の研鑽が必要ですね！

当事務所のお客様の最近の黒字決算割合（TKCが証明するデータを使用しています）

最近 1 年間：61.9%

（国税局の発表によると法人の黒字割合は 33.2%（28 年 4 月～29 年 3 月）です）